

一茶ゆかりの里四季の俳句会

選者 高山俳壇 松本 孝夫 先生

一般の部 (令和六年一月〜三月分)

特選 天 七福神乗せたる如きちぎれ雲

愛知県 武山 明彦

雲は氣象の変動で離れ離れに成り、七つに別れた雲は七福神のような姿に成り、青空に浮かぶ、七福神も生きて居るように思える。

特選 地 受験子の吉の知らせやこぶしの芽

群馬県 滝澤 照香

こぶし芽は花である。受験子に試験の合格通知が届き、吉日に成り満開のこぶしも笑顔に見える。

特選 人 どんど焼どかんどかんと竹が割れ

群馬県 竹淵 洋子

どんどん焼きの竹は高熱に成ると爆ぜ裂ける。どんどん焼きの近くに居ると火の粉が飛び散り、火傷に注意が必要である。

入選 大雪で回覧板は一泊し

群馬県 竹淵 てる子

入選 春の城ガイド二人は中学生

群馬県 竹淵 千恵子

入選 「鬼は外」慌てて開ける厨窓

群馬県 安齊 和子

入選 狐の眼煌煌として夜駆ける

群馬県 櫻井 なるみ

入選 おじぎして渡りゆく子や風光る

群馬県 村西 祥子

入選 樹の枝の揺れにまかせる四十雀

埼玉県 小林 美峰

入選 孫の書天に上がるやどんど焼き

中野市 久保 広二

子どもの部 (令和五年十月〜令和六年三月分)

特選 夜桜がとってもきれいきんぽ道

東京都 ほそまはると

同じ桜でも日中の桜と夜の桜は色彩が違う感じがする。夜桜に照明すると別世界のような感じがする。

特選 あきになり食べものいっぱいいたべまくる東京都

内田 ひなた

秋になると、野菜、米、豆、果物、木の実にいろいろ食べ物が集まる。いろいろ食べると心も体も元気に成る。

入選 どんぐりが頭にコツンいててて

東京都 臼井 おうか

入選 ふろあがり灯火親しむかりた本

東京都 中條 朝陽

入選 春の風すすむ私のせなかおす

東京都 新沼 心春